

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

- 1 種目 技術・家庭（家庭分野）
 2 報告概要

教科書名 出版社名	特 徴
新しい技術・家庭 家庭分野 東京書籍	<p>【観点1】生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ガイダンス」資料が多くわかりやすくなっており、全ての大題材において、「導入」→「基本」→「まとめ」の3つのステップで構成されているので、問題解決的な学習につなげられる。 ・全ての大題材の最初に「小学校での学習」「この編で学ぶこと」「家族・家庭の基本的な機能」「生活の営みに係る見方・考え方」が掲載されており、見通しを持って学習が進められる。特に、「見方・考え方」の学習を深める案内役に「ミカタン」というキャラクターを使用し、見方・考え方を学びの中で働かせられるようになっている。 ・全ての小題材の中に、「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」の活動場面が設定され、実践的・体験的な活動を促している。 <p>【観点2】家庭や地域との連携を図ることができるように配慮されており、生徒の生活や経験及び興味関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」を行うための進め方がわかりやすく説明してあり、学んだ知識・技能等を活用し、家族の一員として活動を促す内容が掲載されている。 ・日本の食文化と地域食材・郷土料理などがわかりやすく取り上げられており、地域との関わりの具体例がわかる。また、防災・減災などのカードも設置されており、地域と関連した内容が掲載されている。 ・調理実習例では、実習例と参考例が多く、献立で調理する場合の手順例もわかりやすく掲載されており、参考にしやすい。また、布を用いた製作では、実習例と難易度が掲載されていて、生徒の実態に即した製作題材を選ぶことができる。 <p>【観点3】各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスに「自分の生活チェック」ページが設けられており、基礎基本からまとめへと構成されており、学習の流れがつかみやすい。また、自主的に学習が進められるようになっている。 ・全ての小題材の最初に「目標」が、最後に「まとめよう」が設けられ、見通しをもって学習をすすめることができる。また、大題材の最後に「学習のまとめ」で自己評価を確かめることができる。 <p>【観点4】写真、図表、資料等が適切であり、他の内容や題材との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4版の紙面を生かし、写真やイラストが大きく掲載されていて見やすく、それぞれの配分も適切であり、理解を深めるために有効である。特に、調理実習や製作実習の基礎ぬいの参考例の写真は鮮明で見やすい。 ・調理実習・製作実習の手順が横流れに配置されて分かりやすく「いつも確かめよう」で基礎的な技能を確認することができる。 ・脚注の資料の「実生活に生かす内容」や「せいかつメモ」などは、内容を深められるので、授業で扱いやすい。

	<ul style="list-style-type: none">・ 巻末の「子どもの限界体験眼鏡」「防災・減災手帳」などの付録は、生徒の興味を深めることができ、実生活と照らし合わせて活用できる内容である。
--	--

教科書名 出版社名	特 徴
NEW技術・家庭 家庭分野 教育図書	<p>【観点1】生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての題材が、「導入」→「やってみよう」→「学びを生かそう」の3つのステップで構成されているので、問題解決的な学習が展開できる。 ・全ての大題材の最初に「小学校とのつながり」を示し、「自立度チェック」が掲載されているので、家庭科の見方・考え方を意識して授業展開ができる。 ・全ての小題材の中に、「やってみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」「体験してみよう」「発表してみよう」「聞いてみよう」などの活動場面が設定され、実践的・体験的な活動を促している。 <p>【観点2】家庭や地域との連携を図ることができるように配慮されており、生徒の生活や経験及び興味関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」を行うために、小題材で事前に「学習を生かして自分の課題に取り組む」が設定してあり、家庭や地域の活動への参加を促す内容となっている。 ・年中行事や行事食が巻頭ページに大きく掲載されている。また、和食と地域の食材を用いた調理や郷土料理、家庭内事故の例などが詳しく取り上げられており、地域や家庭との関わりの具体例がわかる。 ・調理実習例では、肉・魚・野菜のそれぞれに「蒸し料理」が掲載されているとともに、製作実習では、「練習作品」「実習例」に分けて掲載されており、選択時の参考にしやすい。 <p>【観点3】各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本から応用・まとめへと構成されており、学習の流れがつかみやすい。また、自主的に学習が進められるようになっている。 ・全ての大題材の最初に「めあて」が、終わりに「ふり返る」が設けられていて見通しをもって学習することができる。特に、「ふり返る」では、「私の学び」と題した記述式の項目を設定し、学習の「ふり返り」を自主的にすすめることができる。また、章末の「学習のふり返り」で学習の評価ができる。 <p>【観点4】写真、図表、資料等が適切であり、他の内容や題材との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト・写真・図表などがバランスよく配置されており、文章中のキーワードも青色で表記し、掲載されているので見やすい。 ・バーコードを読み取ると動画コンテンツや写真が見られるようになっており、内容理解や技能の修得に役立つように配慮されている。 ・調理実習例では、「失敗例」が取り上げられており、問題解決に役立つとともに、巻末の調理シールは、献立作成の授業で扱いやすい。

教科書名 出版社名	特 徴
技術・家庭 家庭分野 開隆堂	<p>【観点1】生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ガイダンス」資料内容が充実しており、全ての大題材が、「主体的」→「対話的」→「深い学び」の3つのステップで構成されている。特に「深い学び」では、大題材の学習で学んだことを、実生活に即して考えさせる総合的な課題「生活にいかそう」を設定し、問題解決的な学習が展開できる。 ・生活に関する見方・考え方が「生活の見方・考え方 4つの生活をみつめる視点」としてまとめられている。また、図化し、具体的な学習のヒントを提示することで、視点を身近に感じられる構成になっている。「四つ葉」及び「学習をガイドする」マークの使用や「タマゴキャラクター」を使用し、見方・考え方を学びの中で働かせられるようになっている。 ・全ての小題材の中に、「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」などの活動場面が設定されており、実践的・体験的な活動を促している。 <p>【観点2】家庭や地域との連携を図ることができるように配慮されており、生徒の生活や経験及び興味関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」を行うために、小題材の中で事前総合学習「生活にいかそう」が設定されている。また、課題の進め方が、「実生活に生かされる流れ（「生活を見つめる」からスタートし、「生活に生かす」）」であり、家庭や地域の活動への参加を促す内容となっている。 ・消費者教育内容の充実、高齢者との関わりの学習内容の充実など、自分の地域や家族・社会に関心が高まるように考えられている。また、自分たちの「いのちと生活」のための「家庭と地域の災害・減災への取組」に関連した内容が掲載されている。 ・調理実習例には、アレルギー物質を含む表示が黄色マーカーで示してあり、わかりやすい。また、製作実習例でも応用編が掲載されていて、高度な技能レベルの生徒の実習に生かすことができる。 <p>【観点3】各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス資料がわかりやすく冒頭に設けられており、基礎基本から応用へと系統的でスパイラルに学べるようになっていることで、着実に知識・技能を身につけられる構成になっている。 ・全ての大題材の初めに「学習目標」が、終わりに「ふり返り」「生活にいかそう」が設けられ、見通しをもって学習を進めることができる。また、「学習のまとめ」で学習の評価を確かめることができる。 <p>【観点4】写真、図表、資料等が適切であり、他の内容や題材との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習・製作の手順が横流れになっており、写真の配置や背景など工夫されて見やすくなっている。詳細な写真で説明されているのでわかりやすい。 ・バーコードを読み取ると動画コンテンツや写真が見られるようになっていること、調理方法 Q&A の設置など、内容理解や技能の修得に役立つよう配慮されている。 ・脚注の「豆知識」、頭注の題材ごとの写真、実物大の写真、他教科との関連マーク、巻末の資料など授業で扱いやすい。 ・多様性のある事例の掲載や持続可能な社会と SDGs と関連させて考えさせる課題が設置されており、学習内容を深め、今後の生活について考えるように配慮されている。